



# 生徒指導だより

夏季休暇前号

令和5年7月12日号  
岐阜北高等学校生徒指導部

## 1. とても残念な台詞、とても残念な行動

みなさん、いかがお考えでしょう？ 注意をすると、「えっ、ダメなんですか？」という台詞。モノ申す点がなければ、私は注意しません。物議を醸した6月8日(木)の球技大会。大会冊子には、「服装は、通常の体育授業に準ずる」と明記されていました。「装飾品(ネックレス・指輪等)を身につけたり、体操服への装飾、髪飾り、化粧などをしない」とありましたが、実際はどうでしたか？

球技大会の目的は、「体育で学んだ技能を十分に発揮し、**クラスの団結と親睦をはかる**」であり(これも大会冊子に明記)、そもそも学校行事とは、いわゆる“映える”ことが目的ではありません。



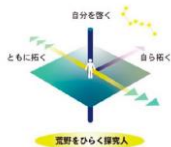
## 2. 粹に感じて欲しい、誇りとしてほしい北高スタイル

「生徒が自分で決められる北高」をキャッチフレーズに、7月から服装選択制が始まりました。教育で大切なことの一つは、自分で考える、理由を考えることだと私は思っています。生徒自身がTPOを自ら考え、判断して、品性を保って着こなすことが重要であり、“おしゃれ私服”を推奨している期間ではありません。「なぜこういう制服があるのか？」と言う先輩たちの声がきっかけで議論が起こり、一年以上の期間をかけて「じゃあ、こうすればいいのでは」とルールが変わっていきました。当時はこのような事例が少なく、北高は先駆者的存在でした。ここが北高生として粹に感じ、誇るべきところです。

今もこの流れを脈々と受け継いで、北高をもっと良い学校にしていこう♪と試行錯誤してくれている生徒たちがたくさんいます。生活委員、生徒会を通じて立案し生徒議会 **各クラスの生活委員に声をかけてください！生活委員会等で話し合います！**で議論すれば校則を変えることができる。つまり、あなたたちには校則を変える権利があるのです。



## 3. どうする北高祭



そのような潮流の中で、境界線上の内側ギリギリのところに立って、「ルールは守っているから問題ない」と平気な顔をして屁理屈を言うって…何かさみしいというか、残念の極みです。

一年前の生徒指導だよりで、「来年の北高祭は、**より生徒主体のものになってほしい**」と記しました。私の想いは、生徒をこれはダメ、あれはダメと「管理・統制」するのではなく、**生徒が考えて、生徒が生徒に働きかけ、生徒自身が自らの判断で様々なことを決定し、生徒が生徒の手で自治**

**する**。それが、上のロゴマーク「スクール・ポリシー」のイメージ図だと信じています。中央にいるみなさんは、どの方向に進むか自分で考えて、自分の意思で決めて、進む。北高祭を「荒野をひらく探究人」に成長するための礎を育む最高・最良の場にしてほしい。夏季休暇中から準備をしましょう。

昨年度の北高祭初日、「実に不本意ですが」と前置きをして、“想像力の欠如”という話をしました。なぜこの言葉を用いたか？ その理由は、少し立ち止まって想像すれば(考えれば)、その善悪を君たちなら判断できたはずだからです。

北高祭はお祭りではありません。したがって、自分たちがやりたいことをやりたいようにやってもよい、何をやっても自由ということではありませんよね。北高祭だけでなく、ホームルーム活動、生徒会活動やその他学校行事は、学校の教育活動の1つです。これらを通じて、各教科・科目等の学習だけでは育めない資質・能力の伸長を図る、とても大切な活動です。

### ①服装と頭髪

【校内外の生活、身だしなみに関する生徒と教職員の申し合わせ事項】には、「服装や頭髪等の身だしなみは、個人の品性や心情、生活態度をあらわすものであり、また、学校生活の雰囲気を作り上げる重要な要素でもある。岐阜北高校は、教育目標にあるとおり「倫理観や規範意識に基づく社会性を育む」場であるため、その場に適切であるかどうか、一般的規範も含めて生徒自らが考え、制服とともに品性を保って着こなして欲しい。」と記されています。この内容

が実に曖昧であることは否めません。でも、こうすることで“考えて判断する余地”を残しているのです。規則や秩序が曖昧だから自分勝手な考えで、好き放題やってもよいということでは決してありませんし、そもそも不必要な加工(染髪・パーマ)は認めていません。これに異議申し立てがあり規則の改正を求めるのなら、正規の手続きを踏みましょう。

## ②勝手な外出

☞ 自分勝手な都合で、自分勝手な解釈で、勝手な判断で、自分勝手な行動をした生徒が複数いました。もし北高祭中の服装が、制服のみに限定していたら、同様の行為は起こったでしょうか。少なからず、制服を着用していたら、世間も目もあるので無断外出は少なかったと私は思います。

## ③リーダーとしての存在感

☞ 夏休み前から練習を頑張ってきた応援団、みんなの頑張りが体育祭に花を添えてくれます。リーダー的存在である応援団が、リーダーとして十分機能してほしい。体育委員とともに体育祭実行委員のような存在であるべきです。応援合戦だけでなく、事前の会場設営、集合時の団の統制、競技の招集、競技の運営や競技者へのエール、団席の管理、後片付けなど、率先して活動する応援団の姿を見て、各団が一致団結できるし、それが応援団としてのプライドだと私は思います。

あなたは どう 思いますか？

## 4. 夏季休暇を前にして

### (1) 最優先事項は「かけがえのない尊い命を守る」こと

開放的な気分になりがちな夏季休暇です。事故や事件に巻き込まれぬように自己防衛意識を高めましょう。

#### ① 自己防衛意識・危険回避手段

- ・危険だと思われる場所・時間帯を避ける。万一の場合には身の安全を第一に考え、不審者に遭遇した場合は、大きな声を出して逃げてください。
- ・特に夏は、変質者(痴漢など)による被害が増加します。目に余るような装いや薄着、短いスカートなどは避けましょう。
- ・「四ない運動(免許をとらない。車・バイクを買わない。乗らない。乗せない。)」を守ってください。

#### ② 自転車に乗るとき

- ・自転車の交通事故は、被害者になるだけでなく、加害者になることもありますので、十分気をつけましょう。
- ・交差点では一旦停止し、車や歩行者がいらないか必ず確認しましょう。
- ・車がいる所を通行する場合、運転手が自分に気づいていることを確認するため、運転手とアイコンタクトを取りましょう。
- ・並列通行、二人乗り、スマホ等やイヤホンを使用しながらの運転及び傘差し運転は、危険ですのでしてはいけません。
- ・自分の存在を周りに知らせるため、夜間はライトを点灯しましょう。
- ・万が一、事故に遭遇した場合は、必ずお互いの連絡先を交換し、保護者・警察(110番)や消防・救急(119番)・学校に連絡してください。

### (2) 困ったこと、相談したいことがあるとき

① 夏季休業中であっても、お困り事や相談したいことがあれば、Classi やメール等で連絡してください。

※ただし、Classi やメール連絡は確認が遅れる場合があります。急ぎの場合は下記の電話番号にお願いします。

- ・電話番号 058-231-6628 (平日 8時20分~16時50分)
- ・緊急の連絡はコロナ関係で使う携帯 080-8250-0525(教頭)

※なお、8月9日(水)から8月15日(火)は学校閉庁日です。

② 学校に相談しづらいときは、以下の窓口等に相談しましょう。

#### 【LINEによる相談】

◇「中高生 SNS 相談@岐阜(2023)」相談期間:8月21日から9月3日 17:00~22:00(最終受付 21:30)

【いじめ・不登校・虐待・学習・進路・人権に関すること等についての相談窓口】

◇「24時間子供 SOS ダイアル」0120-0-78310(夜間・休日・祝日全24時間体制)

◇「教育相談ほほえみダイアル」0120-745-070 月~金 9:30~16:15 (祝日は除く)

※携帯電話からつながりません。

#### 【事件・事故等があった場合】

◇地区少年サポートセンター(最寄りの警察署の生活安全課につながります) 0120-783-802 (フリーダイヤル)